

92年度

1991.9 - 1992.8

「連合」の牙城で春闘決起集会

トヨタ総行動に一一〇〇人

10/19 第二回愛知食糧メーデー

名古屋市港区の港北公園で開いた第二回愛知食糧メーデーは、愛知県青年団協議会や消団連も参加。組合員や近くの団地の子連れのお母さんなど、約二〇〇〇人が秋の一日、産直の美味を堪能。

一〇〇〇の農協へ申し入れ

一〇月七日、九日、コメの輸入自由化反対で宣伝と合わせ、一〇〇農協への申し入れ行動(グリーンウエーブ)を展開。

スクラムフェスタ

11/10 二七争議団が交流・連帯

「ヤル気、遊気、出しちゃいな祭」と人間らしく生き、働く職場をめざし、たたかう労働者・労働組合が交流会。勤労会館大ホールに一〇〇〇人が大集合。

地労委

10・29、11・8 県庁前に座り込み

連日四〇人を超える参加(延べ三四〇人)で行動を展開。各組合ごとに県労働部へ波状的に要請行動も。しかし、不当にも県はまたも「連合」独占の暴挙。



11/20

ナースウエーブ
看護婦を増やせと

白衣の大打進

「ゆきとどいた看護をするため、看護婦さんを増やしてほしい」は国民みんなの願いです。医労連や自治労連を中心に「実効ある看護婦確保法を求めろ」白衣の行動など宣伝・署名をすすめて、全国で四五〇万、愛知で二四万の署名を達成。党派を超えた国会議員からの賛同・支持をかちとり、六月十九日、一二三国会で「看護婦確保法」を成立させました



3/20 第十二回トヨタ総行動 自治労連が 豊田で春闘決起集会

自治労連が、「連合は春闘をまともにたたかおうとせず、会社と一体で管理春闘をすすめている。代表格のトヨタを包囲し、春闘勝利につなげよう」と提起、九二春闘決起集会を豊田で開催。大企業包囲・大企業のボロもつけをはきださせるとりくみとして積み重ねてきたトヨタ総行動と合流、豊田市内の集会・デモとしては最大の二〇〇人が集まりました。



八九年に、白衣の銀座デモで始まったナースウエーブのたたかいは、沖縄から北海道まで全国で展開。愛知でも県庁をとりまく「白衣の輪」行動に三〇〇人が要求実現の思いを託した色とりどりの風船を紺碧の空に放ち、「看護婦ふやせ」と栄まで白衣でデモ行進、市民にアピール。

ナースウエーブも十年の歩み 県医労連委員長 加藤瑠美子

職場・地域でも、名古屋市職労病院支部の白衣の「人間の鎖」行動や、愛厚労の「八日夜勤協定化」などとりみ、以後毎年、春と秋にナースウエーブ行動を。小規模保育所への補助制度など要求を前進させました。

この1年間で
解決した争議
私教連尾関学園
運輸一般
岐阜レミコン分会
全国一般
ナトコ労組
銀産労
東海銀行争議
全国一般
全明治屋労組

闘スローガンは、 92春からだ元気・くらし豊か

「人間らしい職場と社会」をめざして週四〇時間労働・完全週休二日制などを求めた「人間回復署名」が職場や地域に大きな反響をよびました。



交運部会が自動車パレード

6/15 自民・公明・民社の三党が PKO協力を強行

PKO阻止の地域連絡会(三一結成)を軸に、宣伝・署名、集会にと奮闘

世相
ほめ殺し・守旧派・複合不況・共生・PKO・知的障害・冬彦さん・不燃ごみ・お上り・地雷女・サービス残業・カルト・パタフライナイフ